

小金井市のゴミ行政の現状と有料化の動向

2002年11月23日(土)
日本共産党・板倉真也



小金井市のゴミ処理・リサイクルの流れ

1. 一般家庭ゴミ(1日平均排出量10kg未満の事業所ゴミ含む)を11品目・15分別で収集

- ・燃やすゴミ
- ・埋め立てゴミ
- ・有害ゴミ
 - 乾電池
 - 蛍光管、体温計
- ・空缶類
- ・スプレー缶
- ・古紙等
 - 新聞(折込広告も可)
 - 段ボール類
 - 紙パック類
 - その他(雑誌・書籍・雑紙)
- ・布類
- ・ペットボトル
- ・ビン
- ・トレイ(拠点回収)
- ・粗大ゴミ

2. 事業系ゴミ、粗大ゴミは完全有料

◎事業系ゴミ(社会福祉・教育事業関係の事業所は全額免除)

▷1日平均排出量10kg以上の事業所

- ・可燃ゴミ ——— 二枚橋焼却場へ自分で(または業者に頼んで)搬入する 17円/kg
- ・不燃ゴミ ——— 中間処理場へ自分で(または業者に頼んで)搬入する 36円/kg

▷1日平均排出量10kg未満の事業所

- ・可燃ゴミ ——— 一般家庭ゴミ収集の日と同じ時にゴミ置き場に出す。ただし、市指定の有料袋を使用。
- ・不燃ゴミ ——— M袋(4kg収納)・L袋(8kg収納)の2種類。1994年12月から実施。
市内の米屋さんで扱っている。
 - ・可燃ゴミ袋は 28円/kg (M袋は112円/袋、L袋は224円/袋)
 - ・不燃ゴミ袋は 43円/kg (M袋は172円/袋、L袋は344円/袋)

◎粗大ゴミ(生活保護世帯、天災・火災等を受けた者は全額免除)

▷全部で97品目(97品目に該当しないものは、類似品目で判断)。最低200円、最高5,000円の自己負担。

- ・市内の酒屋でシールを購入して、粗大ゴミに貼って屋外に出す。1995年4月から実施。
- ・市が収集するのは、一般家庭と社会福祉・教育事業関係の事業所のみ。
- ・テレビ(ブラウン管式)、冷蔵庫、洗濯機、エアコンは対象外(家電リサイクル法で対処/2001年4月～)

3. 生ゴミの堆肥化

◎生ゴミ処理機を市内10カ所に設置(現時点)

- ①リサイクル事業所 ②警察署跡地の駐車場 ③第一中学校 ④南中学校 ⑤第四小学校
- ⑥東小学校 ⑦南小学校 ⑧第三小学校 ⑨さくら保育園 ⑩緑町の民間マンション

◎生ゴミ堆肥化容器の貸与・購入費補助、処理機購入費補助を実施(事業所等は除く)

[今年度予算] 肥飼料型/10,000円×50基
減量型/5,000円×10基

4. 建て替えが迫られる「中間処理場」「二枚橋焼却場」

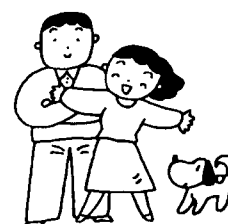
◎中間処理場(不燃ゴミ・不燃粗大ゴミ処理施設)

[概略] 建築面積 615.88㎡(延床面積 1,025.54㎡)、鉄骨・鉄筋コンクリート造り
処理能力 30トン/5時間
稼働開始 1986年11月29日
建設費 5億6,500万円

[建替え計画]

2005年～06年に予定

内容/「機械の磨耗と建物の老朽化に対し、再生・展示機能をあわせ持つ施設に建て替える」



(第3次小金井市基本構想)

◎二枚橋焼却場(ゴミ焼却・破砕処理施設)

[概略] 小金井市・調布市・府中市の3市で使用
処理能力 焼却 510トン/日(135トン×3基、105トン×1基)
破砕 30トン/5時間
設立年月 1957年2月15日

〔課題〕 4基の炉のうち1基(2号炉)が停止中。1基がCO₂規制で来年度以降、使用できない可能性あり。
老朽化が著しい。ダイオキシン対策も早急に求められている。

〔建替え計画/管理者側が「たたき台」提示〕

2015年稼働予定で、現在地に建替えを行なう。

処理能力 焼却 200トン/日

建替経費 約180億円(5,550万円/トンあたり)

求められるゴミ減量 —— 施設の老朽化、最終処分場(埋め立て地)にも限界がある

1. 可燃・不燃ゴミの有料化(有料袋制度)が他の自治体で広がり始めている。有料化でゴミが大幅減少と宣伝するが……

2月5日に小金井市が発表した「小金井市第2次財政健全化計画」では、2003年(来年)10月から「一般家庭ごみの有料化」を明記。「1kgあたり6円」の指定有料袋を導入する計画となっている。「ごみの減量化等を図るため」が有料化の理由(第2次行財政改革大綱)。議会の中でも、有料化を主張する議員が存在する。

一方、三多摩の中でも、有料化が広がりつつある。青梅市・1998年10月～、日野市・2000年10月～、清瀬市・2001年6月。また、昭島市・福生市が今年4月から、東村山市が今年10月から、羽村市が今年度中に実施予定。では、果たして、有料化でゴミは減るのか？

■いち早く実施した青梅市(1998年10月から)の場合

【有料化前】	【有料化後】
ダストボックス回収 ↳ 雑多なものが捨てられる	戸別収集制度 ↳ 分別徹底しなければ、収集してもらえない ・家庭用生ゴミ堆肥化容器の購入補助申請が殺到 ・粗大ゴミ回収車を増やす
(01年9月11日・青梅市環境部の説明)	

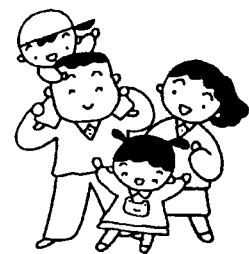
〔減量になった理由〕

ダストボックス方式から戸別収支方式に変更したことにより、分別の徹底と資源ゴミの増、その結果としての可燃ゴミの減少につながった。

■日野市(2000年10月から)の場合

		【有料化前】	【有料化後】	比較	
ゴミ	家庭系可燃ゴミ	42,110,980kg	22,170,760kg	-47.4%	有料 有料
	家庭系不燃ゴミ	12,805,490kg	4,665,770kg	-63.6%	
資源	ペット・トレー	125,156kg	600,067kg	+379.5%	無料
	新聞・雑誌・ 段ボール・牛乳パック	2,770,520kg	8,810,483kg	+218.0%	無料
	古布	254,040kg	829,890kg	+226.7%	無料
	缶・びん	1,267,362kg	1,954,579kg	+54.2%	無料
	計	4,417,078kg	12,195,019kg	+176.1%	
粗大ゴミ		1,795,560kg	2,245,720kg	+25.1%	有料

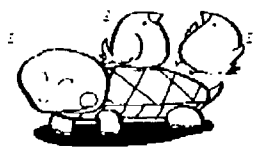
(有料化前後の1年間の比較)



日野市では何故、ゴミが大幅に減り、資源ゴミ回収が大幅に増えたのか

- ①有料化前は、可燃ゴミ、不燃ゴミはそれぞれがダストボックス回収方式。資源物回収ステーションは市内60箇所にあったが、少ないために、あまり利用されず。
 - ②有料化に合わせて、ダストボックス方式から戸別(各戸ごと)収集方式に変更。高層マンションは、マンションごとにゴミ停を設置。資源物も戸別収集方式に変更。
 - ③戸別収集方式は、各家庭のゴミの出し方・分別の徹底が不十分な場合、ゴミ収集車は収集してくれない。
 - ④有料化前のダストボックスの場合は、収集したら手選別することなく、雑多なままで焼却あるいは破碎処理されていた。
- (01年10月18日・日野市環境共生部クリーンセンターの説明)

ダストボックス方式から戸別収集方式への変更が決めて
↳ 分別の徹底化



2. 小金井市／有料化でなくてもゴミ減量に向かっている

	1996年度(g/人・日)		2000年度(g/人・日)		増減率		備考 可燃回収 └─ 2000年度時点 週3回
	可燃	資源	可燃	資源	可燃	資源	
小金井	534.6	93.2	503.8	152.9	94.2%	164.1%	

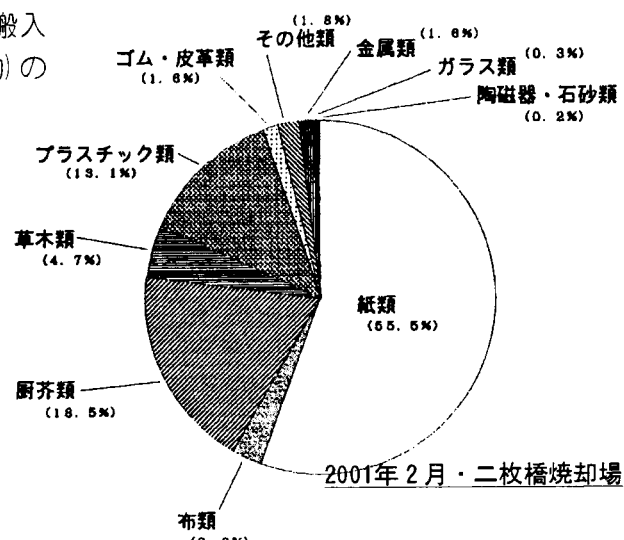
可燃ゴミには、有料袋で家庭ゴミと一緒に排出している事業者含む



年度	家庭系		事業系 自家搬入可燃ゴミ	合計	人口	家庭系可燃ゴミ① g/人・日	
	※可燃ゴミ①	可燃性粗大ゴミ					
1992年	23,339	275	1,448	25,062	104,392	613	
1993年	22,076	277	1,769	24,122	104,418	579	
1994年	21,607	279	2,436	24,322	105,701	560	6月からゴミ袋の透明・半透明化 12月から事業系ゴミの全面有料化
1995年	21,597	182	2,456	24,235	106,731	554	4月から粗大ゴミの有料化
1996年	21,107	178	1,914	23,199	107,616	537	9月から古紙等の平日(隔週)分別回収
1997年	20,468	208	2,509	23,185	107,705	521	
1998年	20,071	209	2,506	22,786	108,303	508	
1999年	19,909	197	2,523	22,629	108,814	501	7月から生ゴミ処理機による堆肥化実 験開始(2機設置)
2000年	20,127	246	2,952	23,325	108,124	510	
2001年	19,563	289	2,973	22,825	109,691	489	

※家庭系「可燃ゴミ」には、有料袋で家庭ゴミと一緒に排出している事業者含む

▷人口増加でも、可燃ゴミの量は減っている。一方、「自家搬入(持込み)」（一日平均排出量が10kg以上の事業系一般廃棄物）の可燃ゴミは増加傾向。



3. 小金井市のゴミを減らすために何が求められているか

[燃やすゴミの場合]

◎一番の課題は、可燃ゴミの中に占める紙類の分別徹底と水分を良く切ること、および、自家搬入(持込み)ゴミの対策。

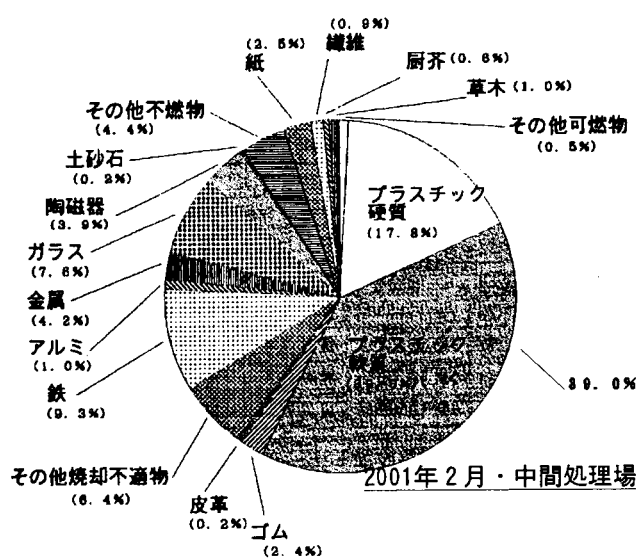
	紙類	厨芥類	プラスチック類	水分の割合
1998年2月	55.1%	24.7%	8.0%	58.9%
6月	67.5%	17.1%	6.7%	46.3%
1999年2月	63.4%	17.5%	5.5%	47.8%
6月	59.2%	14.5%	9.9%	51.9%
2000年2月	51.5%	22.1%	13.0%	47.1%
6月	55.7%	11.8%	12.0%	45.2%
2001年2月	55.5%	18.5%	13.1%	43.3%

[燃やさないゴミの場合]

◎プラスチック類をリサイクルルートにのせる取り組みにより、不燃ゴミは半分以下になる

硬質プラスチック/玩具、容器、文具など。

軟質プラスチック/食品、菓子類のパッケージ、スーパーの袋など。

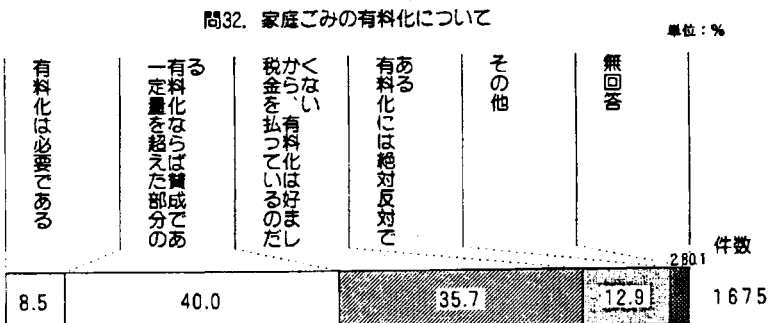


4. 市がねらう全面有料化は小金井市民の少数

◎市が行なったアンケート調査(1999年3月/右下図)

◎日本共産党市議団実施のアンケート調査(今年秋)

- ・賛成 59人(14.5%)
- ・一定量を超えた場合は有料にする 100人(24.6%)
- ・反対 117人(28.8%)
- ・減量を徹底して有料にしない 110人(27.1%)
- ・わからない 11人(2.7%)
- ・その他 9人(2.2%)



(「小金井市長期総合計画策定のための市民意向調査」(1999年3月)より)

以上。